

展示No.	提案名	区分	分類
北海道 37	その場観察の超小型顕微観察装置と 宇宙実績のための宇宙実験サービス	自動機／装置 工法 顕微装置	宇宙 新規性 世界初

提案の狙い	適用可能な製品／分野
<input type="checkbox"/> 原価低減 <input checked="" type="checkbox"/> 質量低減 <input type="checkbox"/> 生産(作業)性向上 <input type="checkbox"/> 品質／性能向上 <input type="checkbox"/> 安全／環境対策 <input checked="" type="checkbox"/> その他 宇宙実証機会の提供	外観検査,精密検査,航空宇宙,バイオテクノロジー,宇宙 実証

従来	新技術・新工法
一般的な顕微観察(光学顕微鏡) <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所をとる (接眼/対物レンズが必要) ・ ピント調整が必須 ・ 振動に弱い ・ 持ち運びに難あり 今までの宇宙実証 <ul style="list-style-type: none"> ・ ISSなど実証試験を行うのに 1年半以上 ・ 実験費用が高額 ・ 縛りのある実験条件  <p>一般的な顕微鏡サイズ W 30 × D 34 × H 50[cm]</p>	顕微観察デバイス：MID <ul style="list-style-type: none"> ・ レンズレス ・ ピント調整不要 ・ リアルタイム観察可能 ・ いつでもどこでも観察可能 ・ 最大4Kクラスの顕微画像取得 宇宙実験サービス <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年以内に実証機会を提供 ・ 世界各国の リターン技術を持つ衛星事業社と提携 ・ 無人であるからこそその実証試験可能 ・ ユーザーに合わせた顕微観察ユニット <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>M I D</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>タンパク質結晶</p> </div> </div>

セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	問題点(課題)と対応方法
<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトな顕微観察技術 ・最大4Kサイズの顕微観察画像や動画の取得 ・申し込みから1年以内に宇宙実証機会を提供 ・ユーザーに合わせた超小型顕微観察ユニットの提供 	【顕微観察】 課題：従来顕微鏡はサイズと持ち運びが難 対応：光学レンズを必要とせず、コンパクトに提供 【宇宙実証】 課題：ISSを利用する場合は、実験までに1年半以上 対応：1年以内に提供可能

開発進度	(2026年1月 現在) 試作／実験段階	開発進度	(2026年1月 現在) 試作／実験段階	コスト	1/10	質量	1/1000	品質	—	生産性	—	作業性	—	その他()	宇宙実証まで 1年以内
------	-------------------------	------	-------------------------	-----	------	----	--------	----	---	-----	---	-----	---	--------	----------------

会社名	(株)IDDK	所在地	札幌市北区北21条西12丁目2北大ビジネスプリング
連絡先	URL : https://iddk.co.jp/ Tel No. : 070-1303-8329 E-mail : yusuke.takeuchi@iddk.co.jp		
部署名 : 研究開発部 担当名 : 竹内 佑介			
主要取引先	大学,(株)東芝,JAXA	海外対応	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <div style="border: 1px dashed black; width: 150px; height: 50px; margin: 5px;"></div> <input type="checkbox"/> 否